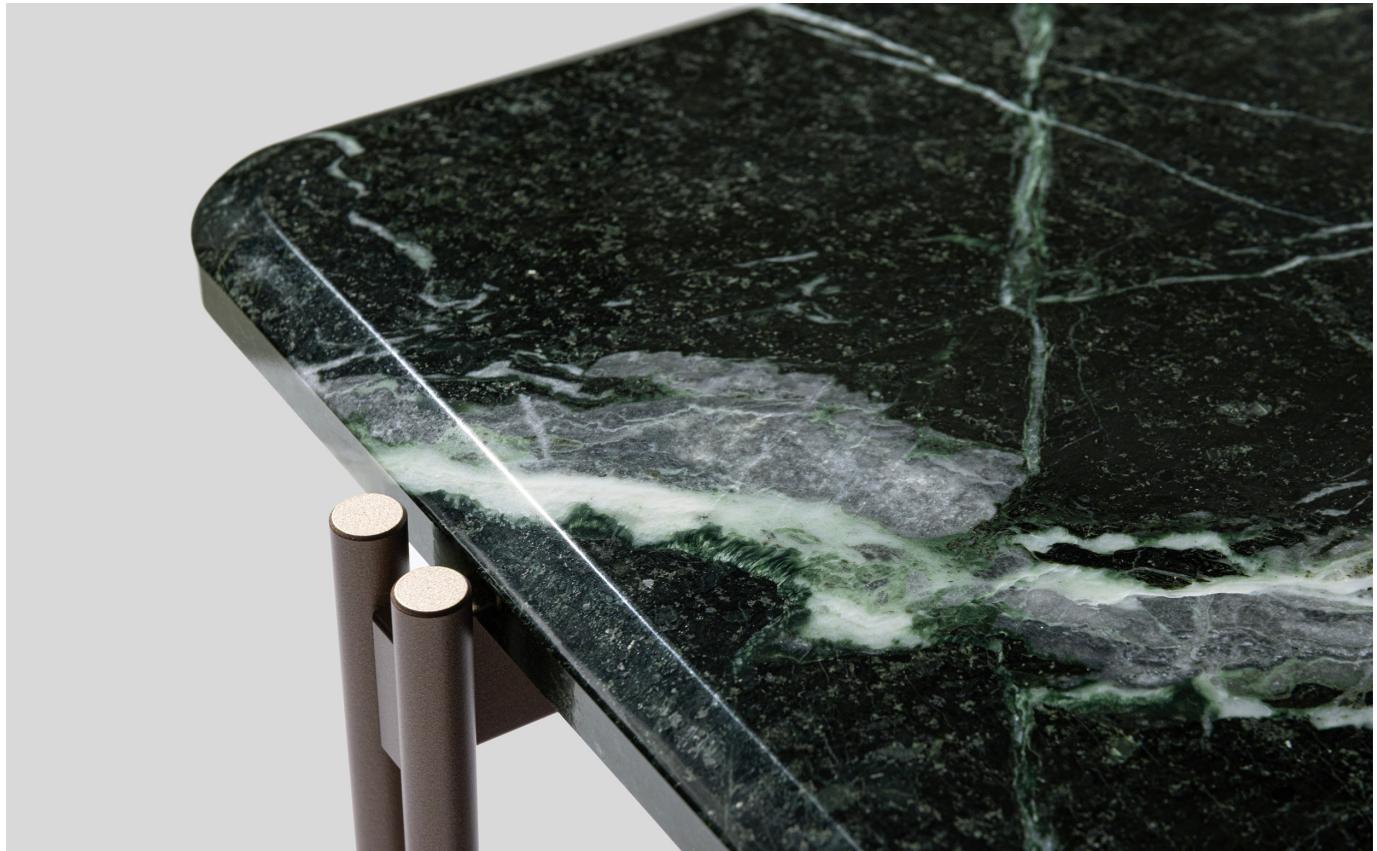




Salone del Mobile.Milano Fiera Milano, RHO HALL 9 C01-C03

2026年4月21日～4月26日 フィエラ本会場

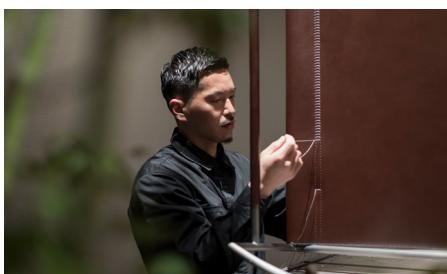


異素材が生む「ゆらぎの均衡」

リツウェルは2026年4月21日～4月26日にイタリア・ミラノで開催されるミラノサローネ国際家具見本市に出展します。2008年の初出展から今年で16回目を数え、世界を代表するラグジュアリーブランドがひしめくデザインホール9への出展となります。

過去最多となる15,000人超えの来場数を記録した昨年に引き続き、イタリアの建築スタジオ967archがブースデザインを担当します。

今年発表するリツウェルのNEW COLLECTIONのテーマは異素材によって生まれる『ゆらぎの均衡』。木とスチール、石と金属、革という異素材を用いながら、静けさと緊張、重さと軽やかさといった相反する要素を内包しており、それらは対立するのではなく、微妙なバランスの中で響き合い、座る人、使う人の心に静かな安定をもたらします。完璧ではないからこそ生まれる、ゆらぎのある均衡。職人の丁寧な手仕事が美しい表情を際立たせ、リツウェルならではの世界観を開拓します。



糸島シーサイドファクトリーの職人による
デモンストレーション

2022年にスタートし、毎年多くの来場者を魅了する職人によるデモンストレーション。今年も糸島シーサイドファクトリーのメンバーが参加し、NEW COLLECTION 2026から「GT TABLE」、その他「GQ TABLE」「IBIZA FORTE easy chair」の手縫い作業を披露します。

NEW COLLECTION 2026



〈NEW PRODUCTS〉 異なる要素が拮抗しながら、静かに均衡する美しさ

「GT TABLE」 異素材の響きあいから生まれる“ゆらぎの均衡”

GT テーブルは、石・金属・革という異素材の響き合いから生まれた、静けさと緊張を併せ持つテーブルです。

石の天板を支える二重構造のスチール脚には、一部に厚革があしらわれ、冷たさの中に人の温度を添えています。

対角に交差する脚の構成が、完璧を超えた“ゆらぎの均衡”を描き出し、空間に呼吸と静かな動きをもたらします。石の重さと空気の軽やかさが一つになったような、緊張と静けさが共に息づく美しさが流れています。



GT TABLE (DESIGN : SHINSAKU MIYAMOTO)

「VESPER armchair」 人に寄り添う “ウェル・バランス”

“Well-balanced”（ウェル・バランス）= “ほどよい均衡を保つ”という感覚的な要素を大事にしています。脚部の全体に流れるやさしい曲線とバックレストを支えるスチール製の細くて丸い四つの柱が、微妙なウェル・バランスを保ち、身体をやさしく受け止めるような座り心地を生み出しています。



VESPER (DESIGN : ATELIER D.Q.)

〈NEW MATERIAL〉 リツツウェルの新たな素材表現

Stone Collection

石は、自然が長い時間をかけてつくり上げた、静かな彫刻のような存在です。その深い陰影や冷ややかな質感は、リツツウェルの家具が持つ温もりと響き合い、空間に穏やかな緊張と詩情を生み出します。私たちは、この相反する要素の融合にこそ、美の本質が宿ると考えています。

「Stone Collection」は、時を超えて心に残る“静かな強さ”をかたちにした、リツツウェルの新たな素材表現です。

Steel (Silkveil Finish)

「Silkveil」は、金属の冷たさに繊細な温もりを与える新しいスチール仕上げ 2色を発表します。絶妙に淡いブロンズの Silkveil Copper と、落ち着いた古美色の Silkveil Gold。どちらも光をやわらかく包み込み、空間に静かな艶をもたらします。素材そのものの質感を尊重しながら、塗装ではなく“光の表情”をデザインした仕上げ。リツツウェルの家具が持つ温もりと響き合い、時を経ても褪せない、穏やかで上質な存在感を描き出します。

世界への挑戦 | ミラノサローネ 16 年の軌跡

リツツウェルは「日本人の精神性」と「職人の手仕事」をベースに、ミラノサローネという世界最高の舞台で 15 年以上にわたり出展し続け、独自の存在感を示し続けています。2008 年のミラノサローネ出展（東京国際家具見本市 IFFTにおいて sozo_comm 事業商品に選定）を機に、本格的に海外展開をスタートしました。2013 年には、ミラノサローネ Hall-10 に単独出展を果たし、2016 年には、ミラノサローネ・フィエラ会場において、イタリアのラグジュアリーブランドが集まる Hall-5 に、アジア初となる出展を果たしました。

この年に初めてイタリア人チームとコラボレーションをしたブースデザインは、「BLACK & WHITE」を基調に、静謐な美しさを持つ「日本人の精神性」を表現し、世界的な評価を確立しました。そして、コロナ禍での開催となった 2022 年には、「職人の手しごと」を目の前で見ることのできる実演を実施し、以降リツツウェルの定番のプレゼンテーションとして認知され、昨年のミラノサローネ 2025 には、過去最多の 15,000 人の来場数を記録しました。

リツツウェルならではの確かな家具作りと、そこから生まれる美しく心地よい暮らしへの想いは、これらのプレゼンテーションを通して、世界中に広がりをみせています。



2016 ミラノサローネ史上初
アジアのブランドとして Hall-5 への出展



2018

プロダクトコンセプトを訴求したショーケースを
思わせるようなファードデザイン
「TOKONOMA」の登場



2022

創業 30 周年を記念して企画された特別仕様の
RIVAGE イージーチェアと IBIZA FORTE イー
ジーチェアの製作実演が大きな話題を呼ぶ



2024

“NEW SUSTAINABLE VALUE” のコンセプトのも
と、柔らかく視界をファードと爽やかな緑。自然
との調和を意識した従来とは趣の異なるブース
デザインで新境地へ



代表取締役 兼クリエイティブディレクター
宮本 晋作

DESIGNER

国内、イタリアの家具メーカー勤務を経て現在に至る。同社チーフデザイナーとしてプロダクト、グラフィック、インテリアのアートディレクションを手掛ける。これまでに数多くの商品をミラノサローネで発表。

1978 年福岡生まれ 九州産業大学建築学科卒業後、飛騨高山にて家具の製作に携わる。25 歳で単身渡伊。イタリアのクラシック家具を製作する工房にて修行し、帰国後、独学で家具のデザインを始める。2005 年リツツウェルに入社しデザイナーとして活動する中、2018 年に代表取締役兼クリエイティブディレクターに就任。2017 年以降、「iF design award」、「red dot design award」、「Archiproducts Design Award」など数々の世界的なデザイン賞を受賞。

2019 年には「JABARA AV BOARD」において、「red dot design award」のプロダクト部門最優秀賞にあたる「Best of the Best」を受賞している。

Ritzwell

1992 年、福岡で創業した「リツツウェル」。

創業時から世界を見据え、ミラノサローネ出展など積極的に海外活動を展開。その上質なデザインと日本ならではの繊細な手仕事により生み出される製品は、ドイツ iF デザイン賞、RED DOT 賞をはじめ、世界的に権威のあるデザインアワードの数々を受賞。また、海外のプロユーザーからの評価も高く、国内外のラグジュアリーホテルやリゾート、レジデンスなど、数多くの納品実績を持つ。

本社所在地：812-0888 福岡県福岡市博多区板付 5-2-9



ritzwell.com

【本リリースに関するお問合せ先】

※取材のお申込み、商品画像の使用についてもこちらにお問合せください

■株式会社リツツウェル 東京支店

〒107-0062 東京都港区南青山 2-13-7 マトリスビル 3F

TEL : 03-5772-3460 FAX : 03-5772-3461

担当窓口

広報担当 若山良子 mail : wakayama@ritzwell.com



PRESS